

委員協議会 だより

総務委員協議会 2月13日

- (1) 特殊詐欺対策事業について
- (2) 災害備蓄品管理システムの導入について
- (3) ふるさと納税制度の取り組み強化について
- (4) 人権尊重のまちづくりに向けた取り組みの進捗状況について
- (5) 第3期枚方市まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定について
- (6) 枚方市教育大綱について
- (7) 子どもの万博会場への複数回無料招待について
- (8) ひらかた万博の取り組みについて
- (9) 長期財政の見直しについて
- (10) 行財政改革プラン2024の策定について
- (11) 第2次情報化基本計画(第3期)の策定について
- (12) 令和6年度機構改革等の実施について
- (13) 今後の農業施策の取り組み及びため池の安全対策について
- (14) 文化生涯学習課所管施設における指定候補者の選定について
- (15) 枚方市文化芸術振興計画の改訂版(案)について
- (16) 枚方市スポーツ推進計画の改訂版(案)について

教育子育て委員協議会 2月14日

- (1) こども計画の策定について
- (2) 子どものSNS相談事業の拡充について
- (3) まるっとこどもセンター(こども家庭センター)について
- (4) 幼保小の架け橋プログラムについて
- (5) 令和6年度教育委員会事務局機構改革の実施について
- (6) 市立小学校の水泳授業における民間活力活用に係る今後の方向性について
- (7) 小学校給食無償化事業について
- (8) 枚方市立生涯学習交流センター・枚方市立駅前図書館の指定候補者の選定について
- (9) 不登校対応の強化について
- (10) 枚方市の支援教育に係る現状と今後の取り組みについて
- (11) 総合型放課後事業の現状と今後の取り組みについて
- (12) GIGAスクール構想の推進における1人1台端末更新に向けた進捗状況の報告について

市民福祉委員協議会 2月15日

- (1) ③街区(仮称)市民窓口について
- (2) 令和6年度国民健康保険料等について
- (3) 後期高齢者医療の保険料等について
- (4) 地方税制改正の概要について
- (5) 枚方市感染症予防計画の案について
- (6) 枚方市立総合福祉会館の熱源改修におけるE S C O事業の活用について
- (7) ひらかた高齢者保健福祉計画21(第9期)等の案について
- (8) 枚方市国民健康保険被保険者を対象とした「第4期特定健康診査等実施計画」及び「第3期データヘルス計画」の案について
- (9) 健康づくりに関する事業の拡充等について
- (10) まるっとこどもセンター(こども家庭センター)について
- (11) 枚方市障害者計画(第4次改訂版)、枚方市障害福祉計画(第7期)及び枚方市障害児福祉計画(第3期)の案について
- (12) 障害者の地域生活を支える取り組みの充実について
- (13) 第2期「枚方市のちを支える行動計画(自殺対策計画)」の案について
- (14) 枚方市猫不妊手術費補助金について
- (15) 不妊治療費検査費用助成事業について
- (16) 市立ひらかた病院における新たな対応について

建設環境委員協議会 2月16日

- (1) 地域脱炭素の取り組みについて
- (2) 「宅地造成及び特定盛土等規制法」の施行に伴う取り組みについて
- (3) 光善寺駅西地区第一種市街地再開発事業の事業計画の変更等について
- (4) 枚方市立小中学校教室等空調設備更新D B O事業について
- (5) 枚方市立総合福祉会館の熱源改修におけるE S C O事業の活用について
- (6) 「建築基準法」の一部改正に伴う手数料の設定等について
- (7) 樺葉駅前広場の環境整備について
- (8) 枚方市街路樹維持管理方針の策定について
- (9) 水道事業及び下水道事業に係る整備基本計画の中間見直しについて
- (10) 水道事業及び下水道事業に係る経営戦略の中間見直しについて
- (11) 令和6年度上下水道局機構改革の実施について
- (12) 中宮浄水場更新事業の進捗状況について

桜丘北保育所の民営化

3/6 賛成多数 一部改正を可決

今回の改正は、桜丘北保育所を6年4月に民営化することに伴い、同所を廃止するものです。

かかわらず、引継ぎを運営法人と保護者に丸投げしているという声を聞くが、どう対応しているのか。答弁 法人とは1年をかけた共同保育等による引継ぎを行い、子どもの状況等の理解を深めてきた。また、三者懇談会等で今後の方針に係る説明と意見交換を重ねており、今後不安軽減へ取り組む。

所管事務調査

教育子育て常任委員会は、その所管する事務のうち「不登校について」調査を行うため、3月7日、委員会の発議により教育子育て委員協議会を開催しました。

先進都市研修

議会は、常任委員会の先進都市研修を次のとおり実施しました。

- 建設環境常任委員会 1月17日・18日、東京都豊島区、埼玉県さいたま市を訪問。中小規模公園活用プロジェクトをはじめとした公園に関する取組について、循環型社会の実現に関する取組について研修。
- 市民福祉常任委員会 1月29日・30日、東京都江戸川区、三重県鈴鹿市を訪問。孤独・孤立対策について、認知症に関するスロージョージングの取組について研修。
- 教育子育て常任委員会 1月30日・31日、千葉県柏市、東京都大田区を訪問。部活動の地域移行について、不登校について研修。

緊急議会を開催

3/29 満場一致 一部改正を可決

今回の改正は、地方税法等の一部を改正する法律が3月28日に成立したことに伴うもので、施行日は6年4月1日です。ただし、令和6年度後半の地価変動に備え、高層ビル建設に係る雑損控除額の特例規定等は、公布日である6年3月31日に施行されます。

保育士の配置基準を見直し

3/28 満場一致 一部改正を可決

今回の改正は、①児童福祉施設の設備及び運営に関する基準及び家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部を改正する内閣府令等が公布されたことに伴い、本市児童福祉施設の保育士に係る配置基準について、3歳児を20対1から15対1に、4・5歳児を30対1から25対1に変更、②困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が

公布されたことに伴い、婦人相談所の名称を女性相談支援センターに変更するものです。

確保に向けた課題を聞く。答弁 大規模園2園において保育士を1人ずつ増員することになる。また、保育士確保につながる理由として、勤務時間や賃金など、施設側と求職者の希望する雇用条件の違いが原因と考える。望望 良好人材の確保や定着には、多様な抜本的な対策が必要と見られる。国は1歳児の配置

定額減税の補正給付

6年度 一般会計補正予算(第1号)を可決

3/28 満場一致

6年度一般会計補正予算(第1号)は、国の定額減税(※)を切り落とし見込まれる所得水準の人の支援策として、減税額との差額の給付に要する経費の補正を行うもので、歳入歳出それぞれ32億5,695万円の増額するものです。

市独自の保育士処遇改善

市独自の保育士処遇改善策を求め賛成

市独自の保育士処遇改善策を求め賛成。答弁 国の定額減税(※)は、所得水準の人の支援策として、減税額との差額の給付に要する経費の補正を行うもので、歳入歳出それぞれ32億5,695万円の増額するものです。

市税条例の一部改正を可決

1月30日・31日、千葉県柏市、東京都大田区を訪問。部活動の地域移行について、不登校について研修。

1月31日、2月1日、長崎県長崎市、佐賀県武雄市を訪問。新庁舎備行事業の概要について、内水氾濫発生時の対策及び備えについて研修。

可決した意見書(要旨)

意見書とは、市の公益(市民の日常生活に関わる公共の利益)に関する事項について、議会の意思として議決し、国や自治体関係機関に提出するものです。

若者のオーバードーズ(過剰服薬)対策の強化を求める意見書

政府は、薬物依存による健康被害から一人でも多くの若者を守るため、左記の措置を講じるよう強く求めます。

- 現在、服用等のおそれのある医薬品の6成分を含む市販薬を販売する際、購入者が高校生、中学生等である場合は、氏名や年齢、使用状況を確認することになっているが、加えて、副作用などの説明を必須とすること。
- 若者への薬剤の販売において、その含有成分に応じて販売する用量を適切に制限し、対面またはオンライン通話での販売を義務づけること。また、販売の際、副作用などの説明を行い、必要に応じて適切な相談窓口を紹介できる体制を整えること。
- 服用のおそれがある薬の指定を的確に進めると同時に、販売時における身分証による本人確認のほか、繰り返し購入による過剰摂取を防止するための(提出先)環境大臣、経済産業大臣

地方創生に貢献するサーキュラーエコノミー(循環経済)の一層の推進を求める意見書

政府は、地方創生に貢献するサーキュラーエコノミーの一層の推進のため、左記の措置を講じるよう強く求めます。

- 地域経済の活性化を図るため、地域の循環資源の再生可能資源の活用など、自治体と民間企業の連携による資源循環ビジネスの創出への支援を強化すること。
- 地域における廃棄物処理の広域化、廃棄物処理施設の集約化、エネルギー回収の高度化等を推進することともに、脱炭素かつ持続可能な適正処理に資する資源循環の体制強化に対する支援を拡充すること。
- 製品の長期メンテナンスやリユース製品の積極的な利用といった、ライフサイクルに係る地域住民及び消費者の意識変革や行動変容を促すとともに、自治体と民間団体の連携によるリユース製品の循環環境の整備を支援すること。

田中家信

あの一とこのひとその25 たなかいえのぶ (生没年不詳)

このコーナーでは、枚方市にゆかりのある人物を紹介いたします。

「河内丹南」鑄物の「おこ」とたたら唄にあるように、古くから河内は鑄物発祥の地と歌い継がれています。河内鑄物師の活躍は、鎌倉時代に全盛期を迎え、鑄造された梵鐘は、東北、九州を除く全国に及んでいます。その後、下級公家である真継家が、全国の鑄物師を統括するようになりました。河内国茨田郡枚方村(現在の枚方市上之町)で古くから鑄物業を営んでいた田中家は、元文3年(1788年)、真継家配下の鑄物師として、河内国左右衛門鑄物師に

田中家では、江戸時代を通じて近隣の人々が使う鍋や釜、農具なども鑄造していました。明治以降、日本各地に近代の工場が造られてからも、伝統技術を守って営業を続けましたが、昭和35年(1960年)頃に廃業しました。その後、鑄物工場と主屋は本市に寄贈され、移築復原後、昭和59年(1984年)に旧田中家鑄物民俗資料館(藤阪天神町)として開館しました。鑄物工場は、国内で唯一、江戸時代の姿のまま残されており、日本の鑄物技術と枚方の昔の暮らしを伝えていきます。

*一枚方のこと。

5月開会議会 日程はこちら(随時更新)

5月17日から開催

詳しい日程は、5月10日の議会運営委員会で決定します。

しぎかい 市議会ってどんなところ?

ぎいん 議員ってどんな仕事?

ひらかた市をよくするために、市民の中から代表者を選んで、その人たちがみんなの暮らしをよくするためにどうすればいいのかを話し合います。この選ばれた市民の代表を「議員」といいます。

その議員が、市役所がきちんと仕事をしているかどうかをチェックしたり、市役所にしてほしい仕事を決めたりするところが「枚方市議会」です。

ひらかたしぎかいでは、年4回、決まった時期に開く会議のほか、必要となったときに会議を開くなど、ほぼ1年間を通して、いつでも会議ができるようにしています。

ひらかたしぎかい議員のことをもっとおしえて。

人数…32人
任期(=議員の仕事をする期間)…4年

議長…議員の中から、代表として1人を選び、この代表者を「議長」といいます。
副議長…議長が病気などで来られないときに、副議長が代わりに仕事を進めます。

議長は何をするの?

議長は、みんなの暮らしを良くするために、いろいろなことを考えて、議会に提案するなど、市役所の仕事のリーダーとして働いています。

議長は何をするの?

議長は、みんなの暮らしを良くするために、いろいろなことを考えて、議会に提案するなど、市役所の仕事のリーダーとして働いています。